

# むささび

第49号

令和5年6月20日発行

JForest 北信州森林組合

〒383-0061 中野市大字壁田938-1

TEL:0269-38-0371 FAX:0269-23-5350

URL <https://www.jforest-kitashinshu.or.jp/>

E-mail [musasaki@jforest-kitashinshu.or.jp](mailto:musasaki@jforest-kitashinshu.or.jp)



大雪で倒壊した機材庫を建替えました。2月28日に完成し引渡しとなりました。



組合ホームページもあります。ぜひ、ご覧ください！  
<https://www.jforest-kitashinshu.or.jp/>  
スマートフォン対応となっています。

主な内容

- 新旧組合長就任退任あいさつ…………… 2
- 第22回通常総代会開催しました …… 3
- 令和4年度事業・決算関係 …… 3～4
- 令和5年度事業計画…………… 5
- 組合員の除名について…………… 5
- 新役員体制が決定しました …… 6
- ICTハーベスタ導入しました…………… 7
- 新しい林業経営モデル実証事業  
現地検討会 …… 7
- 組合の職員募集しています …… 8
- 人事異動…………… 8
- 新入職員紹介 …… 8



## ◇ 新組合長就任あいさつ

北信州森林組合代表理事組合長 山崎 明



このたび代表理事組合長に就任いたしました山崎明と申します。

組合の健全経営に道筋をつけ、立派な実績を残された清水前組合長の後任として、様々な取組に一層チャレンジしてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

北信州地域の森林は、先人の皆様のご努力により、スギ人工林を中心として、利用可能な状況を迎えました。こうした森林は、経済価値のある合理的な太さで計画的に伐採利用していくことが必要です。また、本地域は国土調査が進んでいませんので、同時併行して、市町村との連携のもと、境界の明確化を進めていく必要もあります。その上で、二酸化炭素吸収力の大きい若い森林を再生していくことは、ゼロカーボン社会の構築という観点からも求められています。林業の収益性は必ずしも高い状況にはありません

ので、信州大学等と連携しながら、引き続きスマート林業を構築し、安全性と収益性の確保に取組んでまいります。

また、広葉樹が多いというのもこの地域の特徴です。最近、広葉樹の価値は見直されつつあり、こうした森林の利用にも取組んでまいりたいと考えています。

一方、気候変動の影響から、想定できないような災害が身近な森林から発生するリスクを抱える時代ともなりました。当組合には、これまでの様々な機関との連携を通じ、多様なノウハウが職員に定着してきております。市町村との連携のもとで地域の安心安全の確保に貢献できればと考えております。

いずれにしましても、森林を健全な状態で次世代に引き継いでいくのは、今を生きる私たちの責務であり、また、その過程で有形無形の恩典を組合員さんにお返ししていくのが組合としての使命だと考えております。

森林を取り巻く状況は、年々多様化してきておりますが、為さずんばなんぞ成らん、そんな思いで取り組んでまいります。組合員の皆様の一層のご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

令和五年五月

## ◇ 前組合長退任あいさつ

前組合長 清水 侃



今総代会を以て任期満了に伴い、代表理事組合長を退任することとなりました。

平成二十六年に理事に就任し令和二年からは組合長として、多くの皆様からご指導ご鞭撻いただきながら、大過なく今日を迎えることができましたことに、心から感謝申し上げます。

振り返れば、組合長としての三年間は、新型コロナウイルス感染症拡大、木材の需給バランスの崩れから価格が高騰した『ウッドショック』。そしてロシアのウクライナ侵攻による原油価格等の高騰など、社会経済活動は総じて低調に推移しました。

組合設立二十周年記念事業は、コロナ禍で一部は規模縮小等しましたが、お陰様で大きな節目を祝うことができました。

また、他の森林組合と業務連携をし、春先や除雪作業が本格化する前に、中信地域等での森林整備により、大きな収益を上げることができました。懸案の「除雪に頼らない経営への転換」の第一歩を踏み出すことができ、三期連続の黒字決算となりました。

林業は、新たな森林管理制度やICT技術の進展により、これまでになく新しい道を踏み始めています。森林組合は、「組合員の皆様の利益」を基本に据えて、林業・木材産業を成長発展させ『カーボンニュートラル』にも寄与していく大切な役割を負っています。

今、ウッドショックが終息し、新型コロナもようやく沈静化の様相を呈しています。

山崎組合長を先頭とする新しい役員体制のもと、北信州森林組合の更なる発展と皆様のご多幸を心よりご祈念申し上げ、退任の挨拶といたします。ありがとうございました。

# 第22回通常総代会を開催しました。



3年ぶりの通常開催となり、盛大な総代会となりました。

令和五年四月二十二日（土）に中野市中央公民館講堂において、第二十二回通常総代会を開催しました。

総代総数二〇〇名のうち本人出席六十六人、書面出席百六人、合計百七十二人の出席で、総代会議長に山ノ内地区選出総代の岩本繁樹さんを選出して議事が行われ、上程された十三議案全て原案どおり承認・決定されました。

三年ぶりの通常開催となり、多くの総代に出席いただき、また、御来賓も二十名と多くの方々に出席いただき、たいへん盛大な総代会となりました。

## 令和四年度事業報告・収支決算

設立二十周年記念事業として、記念誌の発行、記念式典・祝賀会、本所の看板建替えを行いました。感染拡大から、式典は規模縮小、祝賀会は中止を余儀なくされましたが、その他は計画のとおり実施となり、大きな節目を祝うことができました。

森林林業においては、社会現象となった「ウッドショック」は終息し、木材需給の混乱は沈静化しました。輸入木材のより戻しによる原木販売への影響が懸念されましたが、梱包用材需要などに支えられ、大幅な値崩れに見舞われることなく販売することができました。

森林整備事業では、組合員の皆さまからの受託による集約化施策を安定的に推進するとともに、国有林生産請負の受注もあり、保有林業機械を効果的に運用することができました。利用部門では、市町村と連携した林地台帳整備事業が新たに加わり、将来の森林管理に欠かせない森林境界明確化を継続することが可能となりました。

### 損益計算書

(単位 千円)

|              |         |         |
|--------------|---------|---------|
| 事業総損益        | 412,375 |         |
| 収費用          | 278,226 |         |
| 事業総利益        |         | 134,149 |
| 事業損益         | 86,938  |         |
| 人件費          | 640     |         |
| 旅費           | 3,476   |         |
| 業務費          | 10,165  |         |
| 諸税           | 3,288   |         |
| 施設費          | 11,049  |         |
| 雑費           | 761     |         |
| 事業管理費計       | 116,317 |         |
| 事業利益         | 17,832  |         |
| 事業外利益        | 1,971   |         |
| 経常利益         | 19,803  |         |
| 特別利益         | 1,397   |         |
| 引当金          | 21,200  |         |
| 法人税・住民税及び事業税 | 703     |         |
| 当期繰越剰余金      | 20,497  |         |
| 当期繰上剰余金      | 15,794  |         |
| 当期未処分剰余金     |         | 36,291  |

※千円未満については四捨五入ですが、合計を合わせるために切捨、切上しています。

### 令和4年度 剰余金処分案

(単位 千円)

|            |        |
|------------|--------|
| I 当期未処分剰余金 | 36,291 |
| II 法定準備金戻入 | 187    |
| III 剰余金処分額 |        |
| 任意積立金      |        |
| 損失補填積立金    | 0      |
| 林業機械購入積立金  | 10,000 |
| 除雪車購入積立金   | 5,000  |
| 出資配当金 (5%) | 4,554  |
|            | 19,554 |
| IV 次期繰越剰余金 | 16,924 |

※千円単位で記載するため端数調整しています。

事業収益は、販売で千二百二十七万円（前年対比157%）、森林整備で一億四千四百四十八万円（前年対比88%）となり、販売では立木の買取りを行ったことなどから前年を大きく上回りました。森林整備では前年比で微減の実績となりました。利用部門では、利用料収入が前年対比236%と大きく上回ったものの、特殊伐採などの利用事業収入が五千五百三十八万円（前年対比80%）、受託利用事業（除雪）が一億二百二十八万円（前年対比72%）となり、利用全体では前年対比98%の二億四千二百九十二万円となりました。全体の損益では収益合計四億二千三百三十八万円に対して費用合計二億七千八百二十三万円、事業総利益が一億三千四百四十五万円となり、前年対比では86%となりました。計画対比では107%の増となりました。そして、事業管理費が一億千六百三十二万円（前年対比99%）で事業利益は千七百八十三万円となりました。事業外損益百九十七万円を加えた経常利益は千九百八十万円でしたが、特別損益の百四十万円を加え、税引前当期利益は二千二百二十万円となりました。



貸借対照表

令和5年2月28日現在 (単位 千円)

| 科目            | 金額             | 科目              | 金額             | 科目              | 金額             | 科目              | 金額             |
|---------------|----------------|-----------------|----------------|-----------------|----------------|-----------------|----------------|
| <b>資産の部</b>   |                |                 |                | <b>負債の部</b>     |                | <b>純資産の部</b>    |                |
| <b>流動資産</b>   |                |                 |                | <b>流動負債</b>     |                | <b>出資金</b>      |                |
| 現金            | 358            | 建物付属設備          | 65             | 受託販売預り金         | 38,445         | 払込済出資金          | 91,078         |
| 預金            | 378,353        | 一括償却資産          | 0              | 買掛金             | 24             |                 |                |
| 売掛金           | 431            | 土地              | 45,130         | 未払金             | 40,315         | 資本剰余金           |                |
| 未収金           | 101,511        | 森林              | 0              | 未払法人税等          | 703            | 資本準備金           | 828            |
| 短期貸付金         | 1,000          | <b>有形固定資産合計</b> | <b>130,121</b> | 短期借入金           | 1,000          | <b>資本剰余金合計</b>  | <b>828</b>     |
| 立替金           | 44,935         |                 |                | 前受金             | 1,216          |                 |                |
| 仮払金           | 1,078          | 無形固定資産          |                | 前受収益            | 154            | 利益剰余金           |                |
| 前渡金           | 0              | 水利権             | 79             | 貸倒引当金           | 0              | 法定準備金           | 182,339        |
| 貸倒引当金         | △ 600          | ソフトウェア          | 389            | 預り金             | 20,697         | 任意積立金           |                |
| 有価証券          | 0              | <b>無形固定資産合計</b> | <b>468</b>     | 未払費用            | 0              | (1)損失補填積立金      | 213,758        |
| たな卸資産         | 4,183          |                 |                |                 |                | (2)除害車購入積立金     | 20,000         |
| その他           | 578            | 外部出資その他資産       |                |                 |                | (3)林業機械購入積立金    | 10,000         |
|               |                | 系統出資金           | 10,250         | <b>流動負債合計</b>   | <b>102,554</b> | <b>当期末処分剰余金</b> |                |
|               |                | 系統外出資金          | 1,120          |                 |                | 当期剰余金           | 20,497         |
|               |                | 差入保証金           | 0              | <b>固定負債</b>     |                | 前期繰越剰余金         | 15,794         |
| <b>流動資産合計</b> | <b>531,827</b> | 預託金             | 23             | 農林漁業資金借入金       | 0              | <b>利益剰余金合計</b>  | <b>462,388</b> |
| <b>固定資産</b>   |                | 長期前払費用          | 2,718          | 退職給付引当金         | 18,933         |                 |                |
|               |                | <b>外部出資合計</b>   | <b>14,111</b>  | 役員退任慰労給付引当金     | 750            |                 |                |
| <b>有形固定資産</b> |                |                 |                | <b>固定負債合計</b>   | <b>19,683</b>  | <b>純資産合計</b>    | <b>554,290</b> |
| 建物            | 41,507         | <b>固定資産合計</b>   | <b>144,700</b> | <b>負債合計</b>     | <b>122,237</b> |                 |                |
| 構築物           | 7,149          |                 |                |                 |                |                 |                |
| 機械装置          | 35,795         |                 |                | <b>負債・純資産合計</b> | <b>676,527</b> |                 |                |
| 車輛運搬具         | 0              |                 |                |                 |                |                 |                |
| 工具備品          | 475            | <b>資産合計</b>     | <b>676,527</b> |                 |                |                 |                |

※千円単位で記載するため端数調整しています。

各議案の採決の状況(賛成数)

| 議案  | 賛成数 |
|---|-----|
| 第1号議案 令和4年度事業報告・貸借対照表・損益計算書・剰余金処分案、注記表及び附属明細書の承認について    | 168 |
| 第2号議案 令和5年度事業計画について                                     | 169 |
| 第3号議案 令和5年度賦課金の額及び納期の決定について                             | 167 |
| 第4号議案 令和5年度役員報酬の決定について                                  | 167 |
| 第5号議案 令和5年度余裕金の預け入先の決定について                              | 169 |
| 第6号議案 令和5年度借入金の最高限度額決定について                              | 168 |
| 第7号議案 一組員及び組合員以外の者に対する貸付金の最高限度額決定について                   | 169 |
| 第8号議案 一組員の負担する債務に対する債務保証の最高限度及び本年度内における債務保証の最高限度額決定について | 168 |
| 第9号議案 定款の一部変更について【特別決議】                                 | 169 |
| 第10号議案 規約の一部変更について                                      | 169 |
| 第11号議案 組合員の除名について【特別決議】                                 | 169 |
| 第12号議案 役員退任慰労金の支給について                                   | 167 |
| 第13号議案 令和5年度役員を選任について                                   | 168 |
| 附帯決議  | 156 |

令和三年の総代会で役員選任規程が変更され、書面による議決権行使が可能となりました。今回の役員選任議案では、賛成数は書面投票百四票、本人出席投票六十四票で、合計百六十八票で決定いただきました。郵便の配達に三日もかかることから、早めに書面決議書を投函いただくようお願いしましたが、総代の皆様のご理解により、締切日を超えて届いた物はありませんでした。ご協力ありがとうございました。

木材販売は、受託林産事業九千三十四㎡、買取林産二百五十八㎡、受託販売百四十八㎡、を販売しました。木材生産量は、国有林の生産請負五千九百二十二㎡を含め一萬五千三百六十二㎡となりました。販売額では受託林産一億二千三百九十九万円、受託販売二百一十万円となりました。生産請負の事業量が増えたことから、受託林産の取扱いは減少となりました。森林整備事業では、主軸事業の受託林産事業は生産量で前年対比88%、受託森林整備取扱高は前年対比93%の一億二千三百三十九万円となりました。その収益となる管理費収入は四千七十五万円、前年対比133%の増となりました。請負事業では、国有林などから造育林事業、生産請負などで九千六百九十六万円(前年対比93%)となりました。森林整備全体の損益は六千四百六十六万円、前年対比95%となりました。利用事業では、受託利用事業(除雪)が、前年対比では72%の減となりましたが、受託林産事業からの利用料収入は四七五十一万円となり、調査収入も五百六十三万円と増加しました。利用全体では収益二億四千二百九十二万円、前年対比98%となりました。

部門別損益

令和5年2月28日現在

収益 (単位 千円)

| 部門     | 金額      | 備考                                      |
|--------|---------|---|
| 指導部門   | 4,510   | 賦課金、実費収入                                |
| 販売部門   | 12,370  | 販売品売上・林産手数料 他                           |
| 森林整備部門 | 141,478 | 森林整備収入、森林請負収入 他                         |
| 利用     | 242,915 | 調査収入、利用料、利用事業収入、受託利用事業収入 家賃収入 共済保険手数料 他 |
| 購買     | 11,097  | 事業物資売上 生活物資売上                           |
| 金融     | 5       | 事業資金貸付利息 林業改善資金取扱手数料                    |
| 合計     | 412,375 |   |

| 部門     | 金額      | 備考                                  |
|--------|---------|-------------------------------------|
| 指導部門   | 5,141   | 総代会経費、広報紙発行費 他                      |
| 販売部門   | 4,855   | 販売品原価 他                             |
| 森林整備部門 | 80,021  | 森林整備費、森林請負費 他                       |
| 利用     | 179,198 | 調査費、利用施設維持費、利用事業費、受託利用事業費 研修施設維持費 他 |
| 購買     | 9,010   | 事業物資売上原価 生活物資売上原価                   |
| 金融     | 1       | 事業資金借入利息                            |
| 合計     | 278,226 |                                     |

※千円単位で記載するため端数調整しています。

|           |            |
|-----------|------------|
| 受託販売取扱高   | 2,100 千円   |
| 受託林産取扱高   | 112,387 千円 |
| 受託森林整備取扱高 | 91,787 千円  |

## 令和5年度損益計画

(単位 千円)

|              |         |         |
|--------------|---------|---------|
| 事業総損益        | 369,841 |         |
| 事業収益         | 249,340 |         |
| 事業費用         |         | 120,501 |
| 事業管理費        | 118,987 | 1,514   |
| 事業外損益        | 800     | 2,314   |
| 特別損益         | -1,305  |         |
| 税引前当期利益      |         | 1,009   |
| 法人税・住民税及び事業税 |         | 703     |
| 当期繰越剰余金      |         | 306     |
| 前期繰越剰余金      |         | 16,924  |
| 当期未処分剰余金     |         | 17,230  |

今年度は、5年間の継続となった「森林づくり県民税」は、再造林や林業の担い手確保・育成を重点としており、積極的な活用に努めます。

森林経営管理制度の運用、森林環境譲与税の活用については、県・市町村との連携を密にし、地域の森林・林業の担い手としての役割を積極的に果たします。

国が目指している「新しい林業」は、機械化・ICT化によって、生産力や労働環境を改善し、再造林や保育まで含めた収支をプラスに転換させることで、持続可能な経営を実現させようというものです。この経営モデル実証事業に取り組みます。確かな手法として軌道に乗るまでの道の険しさも想定したうえで、信州大学等と連携して、林業の新しい時代を目指してまいります。

国有林の「樹木採取権制度」がスタートし、県下では長野森林組合が契約されました。当組合では、長野森林組合との事業連携により、この事業の一翼を担います。

## 令和5年度事業計画

令和5年度の取扱計画は、収益三億六千九百八十四万円、受託販売百万円、受託林産一億六十五万円、受託森林整備一億円で合計五億七千四百九十九万円程の取扱いを計画しています。

昨年度に引き続き、赤坂林産事業所の機能増強と福利厚生のため再整備を行います。

組合内のシステムとネットワークセキュリティの概要把握し、システム、ネットワーク、セキュリティ、データ管理、バックアップ、リスクと被害発生時の対応などの課題を分析し、課題解決を目指します。

## 令和5年度部門別損益計画

| 収 益         |         |   |             | 費 用     |                                     |  |  |
|-------------|---------|---|-------------|---------|-------------------------------------|--|--|
| (単位 千円)     |         |   |             | (単位 千円) |                                     |  |  |
| 部 門         | 金 額     | 備 考                                     | 部 門         | 金 額     | 備 考                                 |  |  |
| 指 導 部 門     | 4,300   | 賦課金、実費収入 他                              | 指 導 部 門     | 4,300   | 総代会経費、広報発行費 他                       |  |  |
| 販 売 部 門     | 11,104  | 林産立本売上 受託販売・林産手数料 他                     | 販 売 部 門     | 3,676   | 木材購入費 林産立本購入費 他                     |  |  |
| 森 林 整 備 部 門 | 89,478  | 森林整備収入、森林請負収入、治山工事収入 他                  | 森 林 整 備 部 門 | 57,056  | 森林整備費、森林請負費、治山工事費 他                 |  |  |
| 利 用         | 253,020 | 調査収入、利用料、利用事業収入、委託利用事業収入、家賃収入、共済保険手数料 他 | 利 用         | 174,429 | 調査費、利用施設維持費、利用事業費、委託利用事業費、賃借施設維持費 他 |  |  |
| 購 買         | 11,928  | 事業物資売上 生活物資売上                           | 購 買         | 9,873   | 事業物資売上原価 生活物資売上原価                   |  |  |
| 金 融         | 11      | 事業資金貸付利息 林業改善資金取扱手数料                    | 金 融         | 6       | 事業資金借入利息                            |  |  |
| 合 計         | 369,841 |   | 合 計         | 249,340 |                                     |  |  |

  

|           |         |
|-----------|---------|
| 受託販売取扱高   | 1,000   |
| 受託林産取扱高   | 100,650 |
| 受託森林整備取扱高 | 100,000 |

## 組合員の除名について

第十一号議案で左表の六名について、除名を決定いただきました。

これまで何度も納入のお願いを行ってきています。また、同時に脱退届の提出を勧めています。広報誌でも広報しましたが、まったく応じていただけませんので、今回3年以上未納となっている方について、除名について附議し、決定いただきました。また、除名決議通知書により弁明の機会を設ける旨をお知らせしましたが、異議、弁明についての申し出はありませんでしたので、皆同意されたものとみなし、今回の議決に至りました。

出資金については、未納賦課金との相殺を優先します。該当される方は、相殺後残金の請求等については、総務課まで問い合わせ下さい。

### 除名対象人数

| 地 区  | 賦課金未納期間   | 対象人数 |
|------|-----------|------|
| 中野   | 令和元年度から未納 | 1名   |
|      | 小計        | 1名   |
| 飯山   | 令和元年度から未納 | 3名   |
|      | 小計        | 3名   |
| 山ノ内  | 令和元年度から未納 | 0名   |
|      | 小計        | 0名   |
| 木島平  | 令和元年度から未納 | 0名   |
|      | 小計        | 0名   |
| 野沢温泉 | 令和元年度から未納 | 2名   |
|      | 小計        | 2名   |
| 豊田   | 令和元年度から未納 | 0名   |
|      | 小計        | 0名   |
| 合計   |           | 6名   |



## 令和5年度からの新役員が選任されました。



新役員の皆さん

### 元県林務部長の山崎明さんが組合長に選出されました。

令和五年二月二十七日の理事会で、役員選任規程に従い、中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、中野市豊田の各地区から二名ずつの推薦委員が選任され、三月二十二日に本所会議室で推薦会議が開催され、総代会に附議する役員候補者を決定いただきました。

### 令和五年度新役員

|         |                |
|---------|----------------|
| 代表理事組合長 | 山崎 明 (飯山市)     |
| 副組合長理事  | 小林 俊幸 (中野市)    |
| 代表監事    | 高坂亀美雄 (員外・税理士) |
| 総務委員長   | 瀧澤 俊實 (木島平村)   |
| 業務委員長   | 丸山 隆久 (中野市)    |
| 総務副委員長  | 小嶋 秀治 (山ノ内町)   |
| 業務副委員長  | 関 保典 (飯山市)     |
| 総務委員    | 丸山 扶美 (中野市)    |
| 総務委員    | 森 勝 (飯山市)      |
| 業務委員    | 斎藤 賢市 (野沢温泉村)  |
| 業務委員    | 山口 剛 (山ノ内町)    |
| 業務委員    | 大井 晴雄 (山ノ内町)   |
| 業務委員    | 森 和樹 (木島平村)    |
| 監事      | 内田 茂実 (山ノ内町)   |
| 監事      | 河野 達浩 (野沢温泉村)  |

今回の改選では、森林組合法が改正されて令和六年度までに設置が義務付けられている「販売事業や経営等に関する実践的な能力を有する理事」として、元長野県林務部長の山崎明さんが理事候補者として推薦されました。また、系統運動の中で、若年層や女性役員の就任による、多様な年齢・性別による組合経営を目指すことが求められており、女性理事として丸山扶美さんが推薦され、若年層は六十歳未満の者とされており、山口剛さんが該当されるので、これらを網羅する役員が総代会で選任されました。

総代会翌日の四月二十三日に、新役員による初めての理事会が飯山市のびつくわんで開催され、理事の互選により山崎明さんが代表理事組合長に選出され、副組合長には元中野市経済部長の小林俊幸さんが選出されました。

総務委員長には、木島平村の瀧澤俊實さん、業務委員長には中野市の丸山隆久さんが選出されています。また、監事会も同時に開催され、代表監事には税理士で員外監事の高坂亀美雄さんが選出されました。任期は令和八年の総代会の日までとされています。



# ICTハーベスタが納品されました。

スマート林業導入支援事業により導入されました。

昨年五月三十日に、日本キャタピラー合同会社と三千三百八十万円（税別）で契約したICTハーベスタが、一月十日に納品となりました。

長野県のスマート林業導入支援事業によるもので、千五百万円の補助を受けての導入となりました。

二月二十四日には、林産班員を対象にICTハーベスタ操作について、メーカーから指導員を招いて操作教習を行いました。

このハーベスタは、造材の際の計測により末口・元口の径と長さをデータ化し、オペレーターの入力による造材した丸太のA材B材といった分類によるデータ管理も可能であり、作業日ごとのデータ集計も可能となっています。

そうしたデータの送受信や管理について、業務課員を対象に、ICTハーベスタデータの取扱いと管理についての教習も行われています。

生産材の在庫状況や、日ごとの生産状況の把握など、電子データを活用しての現場管理のスマート化が期待されます。



キャタピラー更埴営業所で行った完成検査



赤坂林産事業所で行った操作教習

## 「新しい林業」経営モデル実証事業現地検討会開催

・・・木島平村のカラマツ皆伐施業地・・・



あいにくの雨の中、現地検討会が開催されました。

長野県が行う「新しい林業経営モデル実証事業」に、全国十二カ所が選定された実証団体に、当組合が林業経営体として参加し、支援機関である信州大学と精密林業計測(株)が行っている「川上と川下のデータ連携を柱とするコスト削減と山元還元の実証事業」の現地検討会が五月二十九日に木島平村の皆伐施業地で開催されました。

ドローンレーザと背負子レーザを統合した森林資源調査と計測から丸太の利用材積の算定モデルを作成し、その利用材積と品等情報を利用し、ICTハーベスタに造材指示をアップロード、乱尺造材に必要な丸太(極積)情報を集積・ハーベスタで採材された丸太情報とレーザ計測の丸太(極積)情報を突合して精度検証、また、川上と川下の製材所、工務店が連携して、建築用構造材の産地直送による流通コスト削減モデルとしての試験を行うものです。

今後、ドローン計測で地形情報と枝条集積箇所、植栽本数から植栽計画マップを作成し、ホロレンズ装着による誘導植栽、下刈作業の検証、植栽後ドローン計測とAによる植栽木、下刈欠損木と枯死木の自動検出などが計画されています。



# 組合職員を募集しています

## 技能職

令和6年3月に高校・専門学校を卒業予定の方  
 職種：森林整備ほか（冬期間は除雪業務）  
 免許・資格：普通自動車免許（必要な資格は採用後に取得）  
 求人数：2人  
 給与：技能職員給与規程による  
 諸手当：通勤手当・扶養手当・賞与  
 加入保険等：雇用・労災・社保・厚生年金  
 就業時間：7：30～17：00 休憩90分  
 定年：65歳  
 休日：土日 年末年始（12月29日～1月3日）

## 総合職

令和6年3月に大学林業専門課程卒業予定の方  
 職種：森林計画作成・調査・測量・施工管理等  
 免許・資格：普通自動車免許  
 求人数：1人  
 給与：職員給与規程による  
 諸手当：通勤手当・扶養手当・賞与  
 加入保険等：雇用・労災・社保・厚生年金  
 就業時間：8：30～17：15 休憩45分  
 定年：60歳 65歳まで再雇用制度あり。  
 休日：土日 祝祭日  
 年末年始（12月29日～1月3日）

## 総合職

建設関係営業職・現場管理経験者（45歳まで）  
 職種：利用事業の営業・除雪事業の管理業務ほか  
 免許・資格：普通自動車免許  
 求人数：1人  
 給与：職員給与規程による。  
 経験年数加算内規により算定します。  
 諸手当：通勤手当・扶養手当・賞与  
 加入保険等：雇用・労災・社保・厚生年金  
 就業時間：8：30～17：15 休憩45分  
 定年：60歳 65歳まで再雇用制度あり。  
 休日：土日 祝祭日  
 年末年始（12月29日～1月3日）

## 技能職

学歴は問いません（45歳まで）  
 職種：組合所有重機の特定自主検査および不具合発生時の軽微な修繕ほか修理の手配  
 免許・資格：2級自動車整備士（実務経験1年以上）、又は3級自動車整備士（実務経験4年以上）※特定自主検査者資格は採用後に取得  
 なお、特定自主検査者資格取得者は優遇します。

求人数：1人  
 給与：技能職員給与規程による。  
 経験年数加算内規により算定します。  
 諸手当：通勤手当・扶養手当・賞与  
 加入保険等：雇用・労災・社保・厚生年金  
 就業時間：7：30～17：00 休憩90分  
 定年：65歳  
 休日：土日 年末年始（12月29日～1月3日）



## 新入職員紹介

四月から業務課計画係に配属になりました  
 た羽入田真亜久（はにゅうだ まあく）君は、  
 山ノ内町出身で三月に大学を卒業して当組合  
 に採用されました。

計画係では、山ノ内町担当となり、山ノ内  
 町における境界明確化や経営計画等の策定な  
 どの業務にあた  
 ります。

現在は、先輩  
 の下で勉強中  
 です。  
 今後の活躍が  
 期待されます。

## 人事異動

### 三月三十一日付退職

造林班（技能職員）  
 特定自主検査  
 事業内検査者  
 参事（嘱託）  
 渡辺 正行  
 小林 貴

会計係主事（嘱託）  
 田中 忠

利用事業室技師（嘱託）  
 小林 和江  
 平田 昌美

### 四月一日付異動

課長  
 丸山久美子

業務課長  
 南都 寛

業務課計画係  
 清水謙士郎

業務課計画係  
 高柳 秀行

業務課計画係  
 羽入田真亜久

### 四月一日付再雇用

参事（嘱託）  
 田中 忠

特定自主検査事業内検査者  
 小林 貴

## 編集後記

新型コロナも感染症分類が5類となり、少しずつ  
 日常に戻りつつあります。

組合行事も通常開催となりましたので、様々な  
 話題を皆さんに紹介していきたい  
 と思います。



## 本 所

〒383-0061 中野市大字壁田938番地1  
 TEL 0269-38-0371(代)  
 FAX 0269-23-5350

## 利用事業室

〒389-2255 飯山市大字静間383番地14  
 TEL 0269-62-8111  
 FAX 0269-67-0120